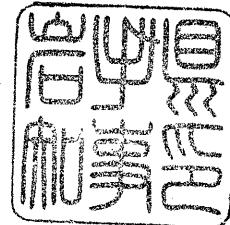


水振第533号  
令和7年2月7日

岩手海区漁業調整委員会  
会長 湊 謙 様

岩手県知事 達増 拓也



知事許可漁業の制限措置等について（諮問）

岩手県漁業調整規則（令和2年岩手県規則第66号）第4条第1項第8号及び第11号に掲げる知事許可漁業について、漁業法（昭和24年法律第267号）第58条において読み替えて準用する同法第42条第1項及び同規則第11条第1項に掲げる事項に関する制限措置を次のとおり定めたいので、同法第58条において読み替えて準用する同法第42条第3項の規定により、貴委員会の意見を求めます。



担当 農林水産部水産振興課  
漁業調整担当（高梨）  
電話：019-629-5819  
FAX：019-629-5824  
E-mail：airi-n@pref.iwate.jp

さんま棒受網漁業の制限措置等について

岩手県漁業調整規則第4条第1項第8号に掲げる次の人さんま棒受網漁業について、漁業法第58条において読み替えて準用する同法第42条第1項及び岩手県漁業調整規則第11条第1項に掲げる事項に関する制限措置等を次のとおり定める。

令和7年 月 日

1 さんま棒受網漁業

(1) 許可又は起業の認可をすべき船舶等の数及び船舶の総トン数その他の制限措置

漁業種類		操業区域	漁業時期	推進機関の馬力数	船舶の総トン数	漁業者の資格	許可または起業の認可をすべき船舶等の数
水産物の種類	漁具の種類 その他の漁業の方法						
さんま棒受網漁業	さんま棒受網	岩手県海面	7月22日から12月31日まで	制限なし	10トン未満	北海道内に住所を有する者 三重県内に住所を有する者	6 1

(2) 許可又は起業の認可を申請すべき期間

令和7年5月8日から令和7年6月10日まで

(3) 備考

- ア この許可の有効期間は、令和7年7月1日（令和7年7月2日以降の場合は許可の日）から令和8年6月30日までとする。
- イ この許可又は起業の認可には、次に掲げる内容の条件を付けることがある。
  - (ア) 資源の保護又は漁業調整のため、知事が操業の停止若しくは一部を制限する指示をした場合は、これに従わなければならぬ。
  - ウ 許可等を受けようとする者は、その住所地を所管する都道府県知事の意見書を添えて別に定める書類を水産振興課総括課長に提出するものとする。

エ 許可又は起業の認可の申請の数が公示した船舶の数を超える場合には、岩手海区漁業調整委員会の意見を聴いた上で、許可の基準を定め、これに従つて許可又は起業の認可をする者を定めるものとする。

いか釣り漁業の制限措置等について

岩手県漁業調整規則第4条第1項11号に掲げる次のいか釣り漁業について、漁業法第58条において読み替えて準用する同法第42条第1項及び岩手県漁業調整規則第11条第1項に掲げる事項に関する制限措置等を次のとおり定める。

令和7年月日

1 いか釣り漁業

(1) 許可又は起業の認可をすべき船舶等の数及び船舶の総トン数その他の制限措置

漁業種類		操業区域	漁業時期	推進機関の馬力数	船舶の総トン数	漁業者の資格	許可または起業の認可をすべき船舶等の数
水産動植物の種類	漁具の種類その他漁業の方法						
いか	釣り	岩手県沖合海面	1月1日から1月31日、6月1日から6月30日未満	5トン以上30トン未満 制限なし	1月1日から1月31日、6月1日から6月30日まで	北海道内に住所を有し、岩手県沖合海面におけるいか釣り漁業の操業等に参加する者	71
いか釣り漁業						青森県内に住所を有し、岩手県沖合海面におけるいか釣り漁業の操業等に参加する者	140
いか釣り漁業						宮城県内に住所を有し、岩手県沖合海面におけるいか釣り漁業の操業等に参加する者	9
いか釣り漁業						山形県内に住所を有し、岩手県沖合海面におけるいか釣り漁業の操業等に参加する者	2
いか釣り漁業						石川県内に住所を有し、岩手県沖合海面におけるいか釣り漁業の操業等に参加する者	1
いか釣り漁業						福井県内に住所を有し、岩手県沖合海面におけるいか釣り漁業の操業等に参加する者	3


(2) 許可又は起業の認可を申請すべき期間

令和7年4月7日から令和7年5月8日まで

(3) 備考

ア この許可の有効期間は、許可の日から令和8年2月28日までとする。

イ この許可又は起業の認可には、次に掲げる内容の条件を付けることがある。

(ア) 電気設備の集魚灯に使用する電球の総設備容量は、180キロワット以下でなければならない。

(イ) 資源の保護又は漁業調整のため、知事が操業の停止若しくは一部を制限する指示をした場合は、これに従わなければならぬ。  
ウ 許可等を受けようとする者は、その住所地を所管する都道府県知事の意見書を添えて別に定める書類を水産振興課総括課長に提出するものとする。

エ 許可又は起業の認可の申請の数が公示した船舶の数を超える場合には、岩手海区漁業調整委員会の意見を聽いた上で、許可の基準を定め、これに従つて許可又は起業の認可をする者を定めるものとする。